研究実施のお知らせ

2025 年 12 月 10 日 ver.1.0

研究課題名

遺伝性乳癌卵巣癌患者の膵がんサーベイランスに関する後ろ向き研究

研究の対象となる方

2010 年 1 月から 2025 年 12 月までの間に島根大学医学部附属病院で遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）と診断を受け、膵臓の画像検査を受けられた方

研究の目的・意義

膵がんは５年生存率が 10%に届かず､先進国を中心に増加傾向にあります。膵がんの予後が悪い原因の一つに早期診断が難しいことが挙げられ、早期診断を目指してリスク因子の抽出が行われており、近年遺伝性乳がん卵巣がん症候群（以下 HBOC）も膵がんのリスク因子と考えられています。HBOC 患者における膵がんの生涯リスクは 1.6-1.7%とされており（約 60 人に 1 人）、健常者の生涯リスク（2500 人に 1 人）と比較すると高いと考えられています。しかし、HBOC 患者の膵の特徴に関する知見は乏しく、なぜ HBOC で膵癌が多いのか、また HBOC に発症する膵癌の臨床像については不明な点が多いのが現状です。そのため、今回 HBOC 患者の膵に対して行われた画像検査を振り返って解析することとしました。

この研究では、

- HBOC 患者の膵画像所見にどのような特徴があるのか
- 遺伝子変異のパターンと膵画像所見に関連があるか

を明らかにします。得られた結果は、今後の HBOC 患者の膵がん早期発見に役立てます。

研究の方法

利用する診療情報の項目： 以下の項目を取得します。

1） 性別
2） 年齢
3） 家族歴
4） 遺伝子変異のパターン
5） 治療歴
6） 腫瘍マーカー（CEA,CA19-9,DUPAN2,CA125）

7）HbA1c
8）膵画像所見

研究の期間

2026 年 1 月（研究許可後）～2027 年 12 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：
島根大学医学部附属病院消化器内科　　福庭暢彦

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。
なお、利用停止のお申し出は、2026 年 10 月までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：
島根大学医学部附属病院消化器内科　福庭暢彦
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話　0853-20-2190　　FAX　0853-20-2189